

# ～ご質問・ご回答用紙～

次の質問に空欄の範囲内で簡潔にお答えください。(4/17までにお手数ですがご郵送下さい)  
(そのまま縮小コピーし掲載いたします。掲載順は五十音順)

お名前： 小林英雄

回答日： 平成21年 4月 17日

1、北アルプス広域連合のアンケート調査で、建設反対が建設賛成を上回りました。

理由は何だとお考えですか。

- ①計画の情報公開が不足していたから
- ②グリーンスポーツの横だから
- ③広域連合の大型のごみ処理施設だから
- ④自然観光地白馬には不向きだから
- ⑤景観が悪くなるから
- ⑥村の財政の問題のため
- ⑦活断層など危険な場所だから
- ⑧健康・農業被害が心配なため

⑧その他：すべてに○をつけなければなりません。①に関係しますが、候補地の選定過程で、住民・専門家が  
入らなかつたこと。③④に関係しますが、ごみ減量化に取り組めば広域化による大型施設は要らないと思います。

2、あなたが最初に取り組みたい「ごみ問題」は何でしょうか？(1つのみ選択)

- ①ごみの減量化
- ②生ごみの堆肥化
- ③徹底したごみの分別
- ④収集方法の改善
- ⑤広域化を前提に建設予定地を早急に決める
- ⑥住民も含めたごみ問題検討委員会を早急に作る
- ⑦その他：⑥は最重要課題です、基本中の基本。  
住民自治が今問われている。

①②③と⑥は同時進行させる(一体のもの)

3、あなたはごみ処理施設をどのように建設されることを希望しますか？(1つのみ選択)

- ①北アルプス広域連合主体で1つ建設
- ②北アルプス広域連合主体で2つ建設(大町/白馬・小谷の2カ所)
- ③白馬・小谷両村主体で1つ建設
- ④その他：

4、この2年間のゴミ処理場建設問題に対する広域連合の住民への説明についてどう思いますか？

既定方針が優先されて、現実的な判断がおろそかになった広域化計画を見直した  
時の説明が不十分だったと思います。村民の意見を聞くというよりは、なにがなんでも  
「説得する」「説得させる」という姿勢、態度に終始していたことは、残念に思います。  
多くの村民はそう感じたことでしょう。建設費やランニングコストなど、一方的で行政側の  
都合のよいところだけが強調され、住民の不安や疑問、要望に充て切れなかったのだ  
ではないでしょうか。

5、今後の「ゴミ処理計画」の進め方や意見集約はどうあるべきだとお考えですか。

○情報公開を徹底し、候補地問題にとどまらず、住民(村民)、専門家を含めた委員会で  
広域化の再検討を行う必要があります。今は、村民の意思に依拠することが一番大切です。  
○広域化に固執せず、今ある施設を使い続け、ごみ減量化を優先する、ごみ対策が要です。  
○大変とは思いますが、住民(村民)代表で参加する方は個人の意見をいうだけでなく、村民  
向けに開かれた対話に、行ってそれを伝え、村民への情報公開を徹底的に行って  
ほしいと思います。

6、その他ご自由にご意見をお書きください。

「広域連合」の制度は、道州制の地ならし的な行政組織で、現在の市町村の権限や機能を空洞化する  
ことにつながります。住民から遠い行政組織でもあり、私はこの制度には基本的に反対です。

今回のごみ処理施設建設については、本当に広域でやるのがよいのかの再検討が必要です。私は、  
ごみ処理は、小さな単位で取り組むほうが、住民の声が届きやすく、循環型社会は形成しやすいと  
考えています。